



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 椿本チエイン
コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 靖
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 和田 幸子
四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 06-6441-0054
平成27年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	101,488	9.2	10,727	8.1	11,362	9.1	7,232	9.9
27年3月期第2四半期	92,948	10.0	9,922	35.0	10,416	38.7	6,578	50.5

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 5,055百万円 (△35.5%) 27年3月期第2四半期 7,836百万円 (△23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
28年3月期第2四半期	円 銭 38.66	円 銭 —
27年3月期第2四半期	円 銭 35.16	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第2四半期	百万円 259,067	百万円 147,668	% 55.4
27年3月期	百万円 258,742	百万円 144,291	% 54.3

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 143,637百万円 27年3月期 140,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
27年3月期	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 16.00	
28年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	
28年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206,000	4.7	22,000	2.7	22,400	0.6	15,000	6.0	80.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	191,406,969 株	27年3月期	191,406,969 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,321,322 株	27年3月期	4,311,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	187,089,877 株	27年3月期2Q	187,109,179 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

(参考) 個別業績の概要

平成28年3月期第2四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,924	4.7	3,877	4.7	10,603	42.7	8,853	52.6
27年3月期第2四半期	40,980	9.6	3,701	61.8	7,429	67.7	5,803	72.7

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における当社グループの事業環境は、政府経済政策や企業業績の回復による設備投資の増加などにより、緩やかな景気の回復基調が続きました。海外においても、米国経済や欧州経済が堅調に推移するなど、全体として景気は緩やかな回復基調にありましたが、中国をはじめとするアジア新興国等の景気が減速するなど、不透明感の強い状態となりました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組むとともに、収益力の強化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は1,039億53百万円（前年同期比6.2%増）、売上高は1,014億88百万円（同9.2%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は107億27百万円（同8.1%増）、経常利益は113億62百万円（同9.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億32百万円（同9.9%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調であったことに加え、米国や欧州、環インド洋における搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は321億39百万円（前年同期比8.5%増）、売上高は317億23百万円（同9.5%増）、営業利益は31億28百万円（同32.8%増）となりました。

[精機]

精機につきましては、日本国内において直線作動機や減速機の販売が堅調に推移しましたが、中国における減速機の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は110億23百万円（前年同期比2.3%減）、売上高は108億90百万円（同1.0%減）となりましたが、日本国内における原価改善の効果などから営業利益は12億12百万円（同8.3%増）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は368億73百万円（前年同期比15.0%増）、売上高は358億21百万円（同10.3%増）となりましたが、中国・新工場の開設準備費用増加などから営業利益は59億15百万円（同4.1%減）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、欧州において金属屑搬送・クーラント処理装置などの売上が減少したものの、日本国内における自動車製造工場向けや新聞印刷工場向け、ライフサイエンス分野向け、物流業界向けシステムの売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は228億58百万円（前年同期比4.2%減）、売上高は220億50百万円（同13.3%増）、営業利益は4億81百万円（同129.3%増）となりました。

[その他]

その他の受注高は10億59百万円（前年同期比2.4%増）、売上高は10億2百万円（同1.9%減）、営業利益は20百万円（同57.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3億25百万円増加し、2,590億67百万円となりました。

流動資産は、設備投資や配当金の支払などにより現金及び預金が11億47百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が15億64百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して7億96百万円増加し、1,174億15百万円となりました。

固定資産は、生産設備への投資などにより有形固定資産が23億94百万円増加した一方で、保有株式の時価下落などにより投資その他の資産が27億44百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して4億70百万円減少し、1,416億52百万円となりました。

(負債)

負債は、未払法人税等が20億90百万円減少、繰延税金負債等の減少によりその他の固定負債が10億24百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して30億51百万円減少し、1,113億99百万円となりました。

(純資産)

純資産は、保有株式の時価下落などによりその他有価証券評価差額金が20億78百万円減少した一方で、利益剰余金が55億48百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して33億77百万円増加の1,476億68百万円となり、自己資本比率は55.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して20億61百万円減少し、252億98百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は85億41百万円（前年同期は86億9百万円の増加）となりました。これは、法人税等の支払額が61億1百万円、売上債権の増加が15億79百万円あった一方で、税金等調整前四半期純利益を113億49百万円計上したこと、減価償却費を50億62百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は69億96百万円（前年同期は87億60百万円の減少）となりました。これは、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済に64億18百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は33億54百万円（前年同期は13億99百万円の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が18億16百万円、配当金の支払による支出が16億83百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成27年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,504	16,357
受取手形及び売掛金	47,338	48,902
有価証券	12,020	11,000
商品及び製品	15,320	15,565
仕掛品	10,342	10,682
原材料及び貯蔵品	7,911	8,122
その他	6,598	7,212
貸倒引当金	△416	△428
流動資産合計	116,619	117,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,555	26,732
機械装置及び運搬具（純額）	28,640	29,462
工具、器具及び備品（純額）	2,939	3,156
土地	37,700	37,605
建設仮勘定	5,778	7,051
有形固定資産合計	101,613	104,007
無形固定資産	5,132	5,011
投資その他の資産		
投資有価証券	27,245	24,353
その他	8,270	8,415
貸倒引当金	△139	△136
投資その他の資産合計	35,376	32,632
固定資産合計	142,122	141,652
資産合計	258,742	259,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,902	27,269
短期借入金	9,722	9,524
1年内返済予定の長期借入金	2,038	780
未払法人税等	4,158	2,067
賞与引当金	3,983	3,503
工事損失引当金	81	48
その他	13,548	14,398
流動負債合計	59,435	57,591
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,146	14,909
役員退職慰労引当金	132	103
退職給付に係る負債	12,269	12,337
資産除去債務	245	261
その他	17,220	16,195
固定負債合計	55,014	53,807
負債合計	114,450	111,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	103,183	108,731
自己株式	△2,055	△2,065
株主資本合計	130,862	136,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,882	8,804
繰延ヘッジ損益	25	37
土地再評価差額金	△10,892	△10,892
為替換算調整勘定	10,101	9,751
退職給付に係る調整累計額	△540	△464
その他の包括利益累計額合計	9,576	7,236
非支配株主持分	3,851	4,030
純資産合計	144,291	147,668
負債純資産合計	258,742	259,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	92,948	101,488
売上原価	64,607	70,652
売上総利益	28,341	30,836
販売費及び一般管理費	18,419	20,108
営業利益	9,922	10,727
営業外収益		
受取利息	71	62
受取配当金	319	448
その他	479	463
営業外収益合計	871	974
営業外費用		
支払利息	192	154
固定資産除売却損	37	73
その他	145	111
営業外費用合計	376	339
経常利益	10,416	11,362
特別利益		
受取保険金	93	-
固定資産売却益	10	-
子会社清算配当金	-	7
特別利益合計	103	7
特別損失		
固定資産除売却損	-	12
投資有価証券評価損	44	8
特別損失合計	44	20
税金等調整前四半期純利益	10,476	11,349
法人税、住民税及び事業税	3,852	3,847
法人税等調整額	△86	146
法人税等合計	3,766	3,994
四半期純利益	6,709	7,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	131	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,578	7,232

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	6,709	7,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,427	△2,082
繰延ヘッジ損益	△99	12
為替換算調整勘定	△260	△314
退職給付に係る調整額	78	75
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	9
その他の包括利益合計	1,126	△2,299
四半期包括利益	7,836	5,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,821	4,891
非支配株主に係る四半期包括利益	14	163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,476	11,349
減価償却費	4,581	5,062
のれん償却額	238	268
固定資産除売却損益 (△は益)	23	62
投資有価証券評価損益 (△は益)	44	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	71	206
売上債権の増減額 (△は増加)	△43	△1,579
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,454	△784
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,423	907
その他	1,081	△1,249
小計	12,602	14,266
利息及び配当金の受取額	384	533
利息の支払額	△205	△157
保険金の受取額	93	-
法人税等の支払額	△4,266	△6,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,609	8,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,364	△1,553
定期預金の払戻による収入	100	1,685
投資有価証券の取得による支出	△406	△190
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△381
関係会社株式の取得による支出	△1,284	-
関係会社出資金の払込による支出	△1,530	△98
子会社の清算による収入	-	20
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△24	△139
長期貸付けによる支出	△10	△12
長期貸付金の回収による収入	14	16
固定資産の取得による支出	△4,481	△6,418
固定資産の売却による収入	227	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,760	△6,996

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	829	△138
長期借入れによる収入	-	368
長期借入金の返済による支出	△10,930	△1,816
社債の発行による収入	9,943	-
リース債務の返済による支出	△106	△85
割賦債務の返済による支出	△4	△4
非支配株主からの払込みによる収入	121	151
配当金の支払額	△1,122	△1,683
非支配株主への配当金の支払額	△119	△136
自己株式の取得による支出	△9	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,399	△3,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△226	△251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,776	△2,061
現金及び現金同等物の期首残高	21,291	27,360
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	92	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,607	25,298

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,972	10,998	32,490	19,465	91,926	1,022	92,948	—	92,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	722	202	—	18	943	405	1,349	△1,349	—
計	29,694	11,200	32,490	19,484	92,870	1,427	94,298	△1,349	92,948
セグメント利益 (営業利益)	2,354	1,119	6,168	209	9,852	47	9,900	22	9,922

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額22百万円には、セグメント間取引消去115百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,723	10,890	35,821	22,050	100,485	1,002	101,488	—	101,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	774	190	—	108	1,074	421	1,495	△1,495	—
計	32,498	11,081	35,821	22,158	101,559	1,424	102,984	△1,495	101,488
セグメント利益 (営業利益)	3,128	1,212	5,915	481	10,737	20	10,757	△29	10,727

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。